

## 屋内タンク貯蔵所構造設備明細書の記入のしかた

(1) 事業の概要	事業の概要は、事業の主たる内容を記入する。 <例> 旅館業
(2) タンク専用室の構造	各項目の欄に該当する事項を記入する。
(3) 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造	建築物の一部に設けるタンク専用室の場合、当該建築物についての、各項目の欄に該当する事項を記入する。
(4) タンクの構造、設備	各項目の欄に該当する事項を記入する。 <例> 形状：「角型」、「縦置き円筒型」 加圧：最大常用圧力、減圧の場合は(-)を付ける。 寸法：タンクの内寸 角型：縦、横、高さ、円筒型：直径、高さ 異形型：最大幅等特徴的な部分の長さ 材質板厚：材質記号及び板厚 容量：中仕切り（分割）タンクは、最大貯蔵容量のほか、（ ）書きで分割容量を記入する。
(5) 各設備の欄	注入口の位置：タンクの注入口の位置 ポンプ設備の概要：種別、設置台数、能力等 採光・照明設備：種別、設置台数等 換気・排出の設備：種別、設置台数等 配管：種類、径、材質、防食方法等 消火設備：種別、形式、設置数、能力単位数等 警報設備：種別
(6) 工事請負者住所・氏名	当該工事を行う者の住所、氏名及び電話番号を記入する。

## 様式第4の二

## 屋内タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		(1)				
タンク専用室の構造	壁	延焼のおそれのある外壁	(2)	床		
		その他の壁		出入口	(しきい高さ cm)	
屋		根		その他		
建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造		階数	(3)	設置階	建築面積 m <sup>2</sup>	
		建築物の構造概要				
タンクの構造、設備	形状	(4)		常圧・加圧 ( kPa )		
	寸法			容量		
	材質、板厚					
	通気管	種別	数	内径又は作動圧 mm kPa		
		種別	数	作動圧 kPa		
安全装置						
液量表示装置			引火防止装置	有・無		
注入口の位置		(5)	注入口附近の接地電極		有・無	
ポンプ設備の概要						
採光・照明設備			換気、排出の設備			
配管						
消火設備			警報設備			
工事請負者住所氏名		(6)	電話			

備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 建築物の一部に製造所(一般取扱所)を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入する。